

日本コンチネンス協会のホームページをご覧の皆様！
はじめまして、コンチネンス理事の関根 直紀と申します！
さて、今後不定期ではありますが、コラムを掲載してまいります。

まず、自己紹介をさせていただきます。

37歳 既婚 子供2人 会社員

29歳の時に仕事で高所からの転落事故で脊髄損傷（T11、12）になり、障害者8歳！

約2年前から日本コンチネンス協会の理事になる！

入ったきっかけは排泄障害で通院している病院で、現日本コンチネンス協会の梶原さんと出会い協会の存在を知り、少しでもお役に立てればと思い参加しました！

コラム一発目は「通院の大切さ」です。

私関根は、脊髄損傷で排泄障害です。

障害者になってからは最低でも1ヶ月に一回は泌尿器科に通院しています。

正直面倒くさい時もあります！

私は、排泄障害になって現在9年目となりました！

そんな私は、ほぼ欠かさず通院しています。

私は声を大にして言いたいです！

排泄障害の人！

面倒だとか、忙しいからとか、恥ずかしいとか言っていないで病院にちゃんと行こうよ！！と……

私の周りでもいます！「カテーテルはネットで購入して、通院してな～い！何かあったら熱発するし、その時は薬飲んでるし」なんて言ってる人！

そんな彼にも言いました、病院行きなさいと！

ではなぜ通院した方が良いか！

普段から通院してれば何かあった時の対応が早い！毎月、検尿してるし、不定期で血液検査もしてるので、すぐに適切な処置を受けられる！

「ん～少しおしっこが濁ってるね～お薬出しておくから熱が出たら飲んで」とか、「水分量が少し足りないね～もう少し飲もうか～」とか！

あとは、自分にあった道具や排泄方法を一緒になって考えてくれる！これは大事だと思います！

ここでよく通院してない人から聞くのが、「水分量はちゃんと自分で管理してるし！薬もちゃんと持ってるから、濁ったり、あっヤバいなって思ったら飲むし、わざわざ通院しても意味くない？」

確かに我々障害者は何かあった時のために何かしらの薬を持っていますが、症状や菌によって効く薬、効かない薬があります。

よく考えて下さい！当たり前ですが皆さんどうですか？皆さんも目の前にある薬を飲んで落ち着いたから大丈夫！なんて事はないですか？それって本当に薬が効いて落ち着いたのか？ってなりませんか？

確かに！と思った方、病院行きましょう！自分にあった病院を探して、自分にあったお医者さんを探して通院しましょ！

人はどんどん老いていきます！

でも医療はどんどん進化していきます！

排泄に使う道具も進化してます！

そんな情報も病院にあります！

あっ！ちなみに私は医療関係者ではありません！

ただ医療に救われてる1人の障害者です！

このコラムを見て1人でも多くの方が自分にあった病院を見つけて、快適な障害者ライフをおくれることを願ってます！